

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0100
評価年度令和 5年度
所属1437
事務事業番号00326

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
敬老事業

所属長名 白川 武史
記入者 大伴 正樹

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実			
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進			
事務事業	014	敬老事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市敬老祝状等の贈呈に関する要綱				
事業概要	(事業概要) 敬老祝記念品の贈呈（８８歳、１００歳、男女最高齢者）、学区敬老事業祝金の支給。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢者の増加に伴い、対象者数も増加している。 (見直しや改善等の経過) 対象者の増加に伴う経費増に対応するため、平成２６年度より祝い金贈呈から敬老祝記念品の贈呈に変更。平成２８年度で記念品贈呈を終了し、２９年度より祝状を贈呈している。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	８８歳、１００歳及び男女最高齢者に
目的(何のために)	多年にわたり社会を支えてきた高齢者の長寿を祝うとともに、敬愛の意を表し、あわせて高齢者自ら心身の健康の向上に努める意欲の増進に資するため
手段(どのようなやり方で)	祝状の贈呈、各学区社会福祉協議会に７０歳以上人口応じ、１１～２０万円を支給することで
成果(どのような状態にするのか)	高齢者に対する敬愛精神の普及、高揚及び高齢者自身の健康意識の向上を図る。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		11,376	10,416	11,944	12,286	12,286	12,286	12,286
事業費		7,401	7,646	7,954	8,296	8,296	8,296	8,296
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	7,401	7,646	7,954	8,296	8,296	8,296	8,296
	人件費計	3,975	2,770	3,990	3,990	3,990	3,990	3,990
	事務・技術（人）	0.45	0.15	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用（人）	0.15	0.50	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

299 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0100
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 00326 敬老事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-55-00-01-00	敬老事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 敬老祝状受給者数	人	1,880.00	2,050.00	2,020.00	2,100.00	1,920.00	2,150.00	2,150.00
		1,862.00	1,988.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 敬老事業実施数	学区	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		36.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		高齢者の敬愛の意を表明する方策として妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		これまで数度の見直しを行いながら事業を進めている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		民生委員による贈呈により、高齢者の見守りも図れ効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		高齢者への敬愛意識及び健康意識向上により施策に貢献している。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	高齢者に対する敬愛意識の醸成が重要であるとともに、民生委員の協力を得て、地域における見守り体制の構築につながっていることから、引き続き事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者に対する敬愛精神の普及や高齢者自身の健康意識の向上に寄与している。今後も高齢者を支えあう地域づくりに向けて必要な事業であり、継続して取り組んでいく。		

300 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

301 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0101
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 00327

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
高齢者労働能力活用事業

所属長名 白川 武史
記入者 大伴 正樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	001	高齢者労働能力活用事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	高齢者就業機会確保事業費補助金基準					
事業概要	(事業概要) 公益社団法人大津市シルバー人材センターに運営費等を補助あるいは事業を委託することで、高齢者の就業機会の増大、社会参加の促進等を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 人生１００年時代といわれる超高齢社会において、働く意欲のある高齢者の多様なニーズに対応した就業機会の創出や生きがいの創出が求められている。 (見直しや改善等の経過) 従来の運営補助に加え、シルバー人材センターの中長期経営計画の策定委員会への参加や、シルバー人材センターと適宜情報交換する機会を設け、今後の事業展開や方向性について意思疎通を図っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	公益社団法人大津市シルバー人材センター
目的(何のために)	高齢者の就業機会の増大を図ると共に、社会参加を促進するため
手段(どのようなやり方で)	運営補助金等を交付することにより
成果(どのような状態にするのか)	高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを促進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	17,201	17,571	19,016	19,016	19,016	19,016	19,016
事業費	15,875	16,245	17,690	17,690	17,690	17,690	17,690
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	15,875	16,245	17,690	17,690	17,690	17,690	17,690
人件費計	1,326	1,326	1,326	1,326	1,326	1,326	1,326
事務・技術（人）	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

302 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0101
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 00327 高齢者労働能力活用事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-57-00-01-00	高齢者労働能力活用事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)助成額	千円	15,525.00	15,895.00	17,690.00	17,690.00	17,690.00	17,690.00	17,690.00
		15,525.00	15,895.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)会員数	人	1,650.00	1,670.00	1,690.00	1,710.00	1,730.00	1,730.00	1,730.00
		1,654.00	1,664.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就業率	%	76.80	78.40	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		61.20	61.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)就業延人員	人	148,920.00	159,600.00	171,120.00	171,120.00	171,120.00	171,120.00	171,120.00
		108,324.00	104,781.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		高齢者の就業機会確保及び生きがいづくりのために貢献している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		高齢者の能力活用 の場を確保し、能力発揮の機会を支援している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		高齢者の就業機会の確保に取り組む団体への支援で効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		高齢者の就業機会の確保に取り組む、社会参加につながっている。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	高齢者の能力を活用した就業機会の場を創出し、高齢者の生活の安定、生きがいの向上のためにシルバー人材センターの補助を実施している。国も同様の方針であり、高齢者の生きがいづくりだけではなく、企業の人手不足の解消や地域社会の維持・発展等にもつながることから、引き続き支援をしていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者の就業機会の確保や、社会参加につながっている。高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを進めるため、引き続き事業を実施していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00327 高齢者労働能力活用事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)助成額	千円	15,525.00	15,895.00	17,690.00	17,690.00	17,690.00	17,690.00	17,690.00
		15,525.00	15,895.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	シルバー人材センターの運営費に対する助成						
(成果)会員数	人	1,650.00	1,670.00	1,690.00	1,710.00	1,730.00	1,730.00	1,730.00
		1,654.00	1,664.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	大津市シルバー人材センターの会員数						
(成果)就業率	%	76.80	78.40	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		61.20	61.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	会員のうち、実際に就労された方の割合（中長期経営事業計画（2018～2024年度）の目標値で設定）						
(成果)就業延人員	人	148,920.00	159,600.00	171,120.00	171,120.00	171,120.00	171,120.00	171,120.00
		108,324.00	104,781.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	年間の就業延人員（中長期経営事業計画（2018～2024年度）の目標値で設定）						
</								

事務事業評価シート（１／２）

304 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0102
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 00328

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
老人クラブ活動助成事業

所属長名 白川 武史
記入者 大伴 正樹

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	002	老人クラブ活動助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市単位老人クラブ活動補助金交付要綱					
事業概要	(事業概要) 高齢者の健康生きがいがづくりや仲間づくりに向けて、老人クラブに対し補助金を交付し、老人クラブ活動の活性化を促進する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢者は増加しているが、従前からの会員の高齢化に加え、趣味の多様化や就労延長等による現役世代の増加により、単位老人クラブ会員数は減少している。 (見直しや改善等の経過) 活動の活性化を図るべく令和２年度から補助金の対象を広げ、利用の手引きについても見直しを行った。また、令和４年度は、あんしん長寿相談所が発行している「あんしん長寿相談所だより」に老人クラブ活動について掲載し、活動の紹介と周知に努めた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	60歳以上の高齢者を会員とする老人クラブに対して
目的(何のために)	高齢者の親睦と交流、健康増進、教養の向上をはかるために
手段(どのようなやり方で)	活動補助金を交付し
成果(どのような状態にするのか)	老人クラブ活動を支援することで、高齢者の健全で豊かな生活を促進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,071	15,739	16,044	16,119	16,119	16,119	16,119
事業費	11,486	11,563	12,054	12,129	12,129	12,129	12,129
国庫支出金	3,898	3,525	3,721	3,465	3,465	3,465	3,465
県支出金	86	115	115	120	120	120	120
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,502	7,923	8,218	8,544	8,544	8,544	8,544
人件費計	3,585	4,176	3,990	3,990	3,990	3,990	3,990
事務・技術(人)	0.40	0.40	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.15	0.33	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

305 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0102
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 00328 老人クラブ活動助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-59-00-01-00	老人クラブ活動助成事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)助成額	千円	13,607.00	12,050.00	12,134.00	12,134.00	12,134.00	12,134.00	12,134.00
		10,700.00	10,933.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)老人クラブ数	団体	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		99.00	92.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)会員数	人	4,700.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00	4,700.00
		4,659.00	4,272.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		高齢者の地域活動を支援する上で、補助金交付は妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		老人クラブ活性化につなげるための方策の検討が必要である。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		団体側の事務負担を考えると軽減策の検討が必要である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		老人クラブの活動は、健康増進、介護予防に寄与している。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	老人クラブの活動は会員数が減少しているとはいえ、生きがいがづくり、健康増進、介護予防のために最も身近な活動主体であることから支援を継続し、団体の事務負担にも考慮して、活性化に向けた方策について検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者の自主的な活動の場は、交流を通じて地域づくりや見守りにもつながることから、必要な見直しを行いながら支援を継続する。		

306 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

307 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0103
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 00330

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
老人日常生活用具給付等事業

所属長名 白川 武史
記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実			
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進			
事務事業	015	老人日常生活用具給付等事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市地域支援事業等実施要綱				
事業概要	(事業概要) 一人暮らしの高齢者等に対し、緊急通報装置、電磁調理器・火災警報器を貸与又は給付する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 一人暮らし高齢者の増加により、緊急時にボタン１つでオペレーターに繋がり緊急対応が可能な緊急通報装置をはじめ電磁調理器・火災警報器への需要は増加している。 (見直しや改善等の経過) 緊急通報装置は、これまで利用可能な回線がＮＴＴ回線のアナログの回線に限られていたが、平成２５年度からＮＴＴ回線以外の光回線、令和５年度からは固定電話がない高齢者のために携帯電話回線を利用可能とした。また、令和５年度からは協力員が１名でも利用可能とした。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	概ね６５歳以上の一人暮らし高齢者等
目的(何のために)	要介護状態になる一人暮らし高齢者等の在宅生活の安全、安定を図る。
手段(どのようなやり方で)	緊急通報装置、日常生活用具（電磁調理器・火災警報器）の給付又は貸与を行う。
成果(どのような状態にするのか)	緊急通報装置の設置により、高齢者の緊急時の通報及び救急活動が速やかに行えるようになる。日常生活用具（電磁調理器・火災警報器）の導入により、火災予防につながる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	11,084	10,714	11,131	12,331	12,331	12,331	12,331
事業費	9,826	9,428	9,845	11,045	11,045	11,045	11,045
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,826	9,428	9,845	11,045	11,045	11,045	11,045
人件費計	1,258	1,286	1,286	1,286	1,286	1,286	1,286
事務・技術（人）	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

308 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0103
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 00330 老人日常生活用具給付等事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-65-00-08-00	老人日常生活用具給付等事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)緊急通報装置他 給付件数	設置数	75.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		94.00	110.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)緊急出勤数	回数	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		82.00	165.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		用具の給付により、在宅生活の安心・安全につながっている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		一人暮らし高齢者の在宅生活の安心・安全につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		サービスの利便性向上により在宅生活の支援につながっている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		増加する一人暮らし高齢者の安心・安全な生活維持に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	緊急通報装置は一人暮らし高齢者の在宅生活の安心・安全につながるものであり、日常生活用具は火災防止になることから、地域住民の安心にもつながっている。緊急通報装置は、協力員により地域の見守り強化につながる一方、協力員が見つからず、利用を断念する方もいたことから、協力員の必要人数を見直し、携帯型の通報装置を利用可能としたことで、利便性が向上し、新規件数が増加した。一人暮らし高齢者の生活を支えるための支援策として引き続き実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	一人暮らしの高齢者の生活を支え、見守りや在宅生活の安心・安全に資するものであり、継続が必要な事業である。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00330 老人日常生活用具給付等事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)緊急通報装置他 給付件数	設置数	75.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		94.00	110.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	緊急通報装置、電磁調理器等日常生活用具の給付件数						
(成果)緊急出動数	回数	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		82.00	165.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	消防局における緊急通報による年間出動数						

事務事業評価シート（１／２）

310 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0104
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 00337

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
老人小規模住宅改造助成事業

所属長名 白川 武史
記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	016	老人小規模住宅改造助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市地域支援事業等実施要綱					
事業概要	(事業概要) 65歳以上の要介護高齢者に対し、排泄や入浴、移動等を容易にするための住宅改修に必要な経費の2分の1（上限額250,000円）の額を支給する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、手すりの設置や段差解消など住宅改造の需要は増加している。 (見直しや改善等の経過) 介護保険制度の住宅改修と一体的に実施している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	65歳以上の寝たきり又はこれに準ずる状態の高齢者
目的(何のために)	在宅生活の安全を図る。
手段(どのようなやり方で)	入浴、排泄、歩行等の日常生活動作を容易にするための、住宅の改造工事経費の2分の1の額を支給する。
成果(どのような状態にするのか)	在宅生活上のバリアフリーを実現し、日常生活上の安全性が確保できる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,087	17,472	15,063	19,605	20,749	21,966	23,261
事業費	14,395	15,738	13,329	17,871	19,015	20,232	21,527
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	5,634	7,127	6,576	8,847	9,419	10,028	10,675
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,761	8,611	6,753	9,024	9,596	10,204	10,852
人件費計	1,692	1,734	1,734	1,734	1,734	1,734	1,734
事務・技術（人）	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0104
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 00337

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
老人小規模住宅改造助成事業

【関連予算情報】	
予算事業	予算事業番号
01-15-05-20-65-00-09-00	老人小規模住宅改造助成事業費
	健康保険部長寿政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)助成額	千円	12,849.00	13,153.00	14,193.00	15,315.00	16,525.00	17,831.00	18,972.00
		14,254.00	15,630.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者数	人	160.00	170.00	175.00	180.00	185.00	190.00	195.00
		172.00	186.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		介護保険制度を補完する制度として妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		在宅生活を維持するために有効な手段である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		介護保険制度の住宅改修と一体的に実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		介護者の負担軽減、高齢者の在宅生活の安全確保に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
所属コメント (400文字)	本事業は、介護保険制度の住宅改修を補う事業であり、介護保険サービスの対象とならない工事や同サービスの支給限度額を超える工事も対象としていることから、高齢者やその家族の経済的負担の軽減と在宅生活の安全確保に役立っており、今後も事業を継続する。

【部局評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
部局コメント (400文字)	要介護者の安全な在宅生活が維持できるよう、引続き適切な事業実施に努める。

312 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

313 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0105
評価年度令和 5年度
所属1437
事務事業番号00347

進捗区分評価完了
健康保険部長寿政策課
ショートステイ事業

所属長名白川 武史
記入者河瀬 佳世

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実			
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進			
事務事業	017	ショートステイ事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市地域支援事業等実施要綱				
事業概要	（事業概要） 6 5 歳以上の社会適応が困難なひとり暮らしの高齢者や、虐待により保護・分離する必要がある高齢者を対象に、養護老人ホームへ一時的に保護する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 高齢者の増加に伴い、社会適応が困難なひとり暮らしの高齢者や、虐待により保護・分離する必要がある高齢者が増加傾向にあることから一時的に保護できる当該事業が必要である。 （見直しや改善等の経過） 高齢者虐待による分離や一時保護で利用するケースが主であるが、高齢者が施設での入所が妥当であると判断できればショートステイ利用から措置入所に切り替えるようにしている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	6 5 歳以上の社会適応が困難なひとり暮らしの高齢者、虐待を受けている高齢者
目的(何のために)	支援が必要な高齢者の生活の安定を図るため
手段(どのようなやり方で)	養護老人ホームで一時的に保護する。
成果(どのような状態にするのか)	一時保護することで、高齢者の安全や生活を確保する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		4,534	5,054	5,710	5,510	5,510	5,510	5,510
事業費		790	1,388	2,200	2,000	2,000	2,000	2,000
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		790	1,388	2,200	2,000	2,000	2,000	2,000
人件費計		3,744	3,666	3,510	3,510	3,510	3,510	3,510
事務・技術（人）		0.48	0.47	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0105
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 00347 ショートステイ事業

【関連予算情報】	
予算事業	予算事業番号
01-15-05-20-71-00-02-00	ショートステイ事業費
予算所属名称	
健康保険部長寿政策課	

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)利用日数	日	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		216.00	375.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者数	人	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		10.00	14.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		高齢者保護のセーフティネットとしての機能を果たしている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		居室を確保する事業として有効である。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		緊急時に一時保護対応ができる体制が整えられている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		高齢者の安心・安全確保につながる事業として貢献している。			
	評価理由					

【所属評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
所属コメント (400文字)	高齢者人口の増加に伴い、支援を要する人が増加することから、今後も社会的適応が困難な独居の高齢者、高齢者のみ世帯、又は虐待時の緊急一時保護先としてのセーフティネットとしての機能を充足する必要がある。

【部局評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者虐待による緊急分離や一時保護において必要な事業であるため、今後も事業を継続する。

315 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

316 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0106
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 00350
進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
「食」の自立支援事業（一般）

所属長名 白川 武史
記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	021	「食」の自立支援事業（一般）				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法、大津市地域支援事業等実施要綱					
事業概要	(事業概要) 6 5 歳以上の調理が困難で見守りが必要な高齢者に対して、安全で栄養バランスのとれた昼食を高齢者の居宅に配達し、当該高齢者の食事の確保及び安否確認を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、調理が困難なひとり暮らし高齢者やこれに準じる高齢者世帯が増加している。 (見直しや改善等の経過) 全利用者への現況調査を実施し、委託業者に対して必要な指導を行ってきた。平成 2 9 年度からは、総合事業の開始に伴い、事業の一部を総合事業に移行した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	調理が困難で見守りが必要な 6 5 歳以上の高齢者に
目的(何のために)	食事の確保と安否確認のため
手段(どのようなやり方で)	安全で栄養バランスのとれた昼食を高齢者の居宅に配達し
成果(どのような状態にするのか)	栄養バランスのとれた食事を確保すると同時に見守りを行う。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	22,981	26,662	24,364	40,396	47,231	55,269	64,238
事業費	21,441	25,100	22,802	38,834	45,669	53,707	62,676
国庫支出金	8,255	9,664	8,779	14,951	17,583	20,677	24,130
県支出金	4,127	4,832	4,389	7,476	8,791	10,339	12,065
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	4,931	5,772	5,244	8,932	10,504	12,353	14,415
一般財源	4,128	4,832	4,390	7,475	8,791	10,338	12,066
人件費計	1,540	1,562	1,562	1,562	1,562	1,562	1,562
事務・技術（人）	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

317 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0106
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 00350 「食」の自立支援事業（一般）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-07-00	「食」の自立支援事業費（一般）	健康保険部介護保険課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)配食数	食	48,000.00	50,000.00	58,900.00	69,400.00	81,800.00	96,400.00	96,400.00
		55,120.00	65,034.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)通報件数	件	0.00	0.00	140.00	150.00	160.00	170.00	180.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)安否確認数	人	10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		地域支援事業（任意事業）に基づくものであり妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		食事（栄養）確保、配達時の異常発見につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		食事（栄養）確保と安否確認を1つの事業で実施している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		食事確保と安否確認により、高齢者福祉の充実に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	認知症高齢者や虚弱高齢者の食生活の改善につながることに加え、配食サービスを通じて事業者による市内全域での安否確認や緊急時の早期発見及び早期対応につながっていることから大変重要な事業となっており、今後も継続して取り組む。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	在宅で生活する高齢者の食生活改善と見守りの体制のために有効な事業であり、今後も事業を継続する。		

318 頁
令和 6年 9月18日

評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了
所属	1437	健康保険部長寿政策課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00350	「食」の自立支援事業（一般）	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0107
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 00351

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
地域包括支援センター運営事業

所属長名 白川 武史
記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	001	地域包括支援センター運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	（事業概要） 本事業は、地域包括支援センター業務の一部として、指定介護予防支援事業者である地域包括支援センターが、要支援の認定を受けた高齢者及び総合事業対象者に対し、サービスの適切な利用ができるよう、介護予防サービス計画又は介護予防ケアマネジメントを作成するとともに、サービスの目標の達成状況の評価等を行う。（介護予防支援業務の一部を民間の事業者へ委託）					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 高齢化の進展に伴い、介護保険の要支援認定者数及び総合事業対象者数が増加している。 （見直しや改善等の経過） あんしん長寿相談所（地域包括支援センター）については、瀬田北・瀬田東圏域（平成29年度）、富士見・晴嵐圏域（平成30年度）、滋賀・山中比叡平圏域（平成31年度）、葛川・伊香立・真野・真野北圏域（令和2年度）、木戸・小松及び下阪本・唐崎圏域（令和4年度）、大石・田上圏域（令和5年度）を順次委託により開設し、事業運営の効率化を図った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	要支援認定者（要支援1又は要支援2）及び総合事業対象者である介護保険被保険者を対象に
目的(何のために)	高齢者が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう
手段(どのようなやり方で)	介護予防サービス計画又は介護予防ケアマネジメントを作成するとともに、サービスの目標の達成状況の評価等を行う。
成果(どのような状態にするのか)	高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと自分らしく安心して暮らし続けることができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	135,408	120,495	135,809	135,809	135,809	135,809	135,809
事業費	129,655	114,335	129,649	129,649	129,649	129,649	129,649
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	129,655	114,335	129,649	129,649	129,649	129,649	129,649
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	5,753	6,160	6,160	6,160	6,160	6,160	6,160
事務・技術（人）	0.67	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

320 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0107
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 00351

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
地域包括支援センター運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-85-00-03-00	地域包括支援センター運営事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)介護予防委託先事業者数	箇所	175.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		172.00	150.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)介護予防サービス計画等作成件数	件	42,000.00	37,300.00	37,300.00	37,300.00	37,300.00	37,300.00	37,300.00
		37,344.00	32,910.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		介護保険法の規定に基づくものであり妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		住み慣れた地域での在宅生活の継続につながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		業務の一部を民間事業者へ委託している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		計画作成により介護予防を行い、在宅生活継続に寄与している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	令和5年度は日常生活圏域のすべてに地域包括支援センターが配置できるよう準備を進めた。今後も第9期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、事業を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	高齢者の総合相談窓口として、地域包括支援センターは極めて重要な施設であるため、引き続き事業を進めていく。また、第9期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画では地域包括支援センター（あんしん長寿相談所）の機能強化を掲げており、複雑多様化するニーズに適切に対応できるよう、対応能力の向上、サービスの質の確保を図るため、基幹型の地域包括支援センター（あんしん長寿相談所）の体制強化に取り組んでいく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00351 地域包括支援センター運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)介護予防委託先事業者数	箇所	175.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		172.00	150.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	介護予防サービス計画等を行う委託先居宅介護支援事業者数						
(成果)介護予防サービス計画等作成件数	件	42,000.00	37,300.00	37,300.00	37,300.00	37,300.00	37,300.00	37,300.00
		37,344.00	32,910.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	介護予防サービス計画等の作成件数						

事務事業評価シート（１／２）

322 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0108
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 00396

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
寝具丸洗いサービス事業

所属長名 白川 武史
記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実			
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築			
事務事業	022	寝具丸洗いサービス事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市地域支援事業等実施要綱				
事業概要	(事業概要) 65歳以上の高齢者で、認知症等により常時寝たきりとなった者の敷布団及び掛け布団を年に一回、丸洗い乾燥することにより、要介護高齢者の衛生状態を良好に保つ。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、在宅生活を送る寝たきりや認知症のある高齢者が増加している。 (見直しや改善等の経過) 経済状況により丸洗いに係る単価は変動しているが、利用者負担額（布団1枚につき400円、羽毛布団は600円）は据え置いている。 令和2年度より、市社会福祉協議会との委託契約から、一般競争入札による委託業者の選定に見直しを実施した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	65歳以上の常時寝たきり又は認知症の高齢者
目的(何のために)	在宅生活上の衛生状態を良好に保つため
手段(どのようなやり方で)	業者に委託し、使用している敷布団、掛け布団を丸洗い乾燥する。
成果(どのような状態にするのか)	在宅生活を衛生的に良好なものに保ち、精神的にも快適な生活を維持する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,587	2,141	2,331	2,396	2,414	2,448	2,483
事業費	1,497	1,431	1,621	1,686	1,704	1,738	1,773
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,497	1,431	1,621	1,686	1,704	1,738	1,773
人件費計	1,090	710	710	710	710	710	710
事務・技術（人）	0.10	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

323 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0108
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 00396 寝具丸洗いサービス事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-65-00-06-00	寝具丸洗いサービス事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 利用者数	人	250.00	260.00	270.00	280.00	280.00	280.00	280.00
		257.00	270.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 実施枚数	枚	460.00	480.00	490.00	500.00	500.00	500.00	500.00
		474.00	495.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		寝たきり高齢者の衛生面と見守りに効果的である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		寝具を衛生的に保てるため、利用者数が増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		一括したサービス提供で、利用者の経済負担を軽減できる			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		高齢者の衛生環境と地域での見守り活動に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本事業は、寝たきり等高齢者の衛生環境の向上に効果的であることから、今後も事業を継続する。		

【部局評価結果】	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	在宅で生活する寝たきり等高齢者のために必要な事業であり、継続して取り組む。		

324 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

325 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0109
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 00409

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
紙おむつ給付事業

所属長名 白川 武史
記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	015	紙おむつ給付事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法、大津市地域支援事業等実施要綱					
事業概要	(事業概要) 寝たきりや認知症により、２４時間紙おむつが必要な高齢者を在宅で介護している家族に対し、介護負担および経済的負担の軽減を図るため、紙おむつ券（１ヶ月４、５００円分）を支給する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、在宅生活を送る寝たきりや認知症のため、２４時間紙おむつを必要とする高齢者が増加している。 (見直しや改善等の経過) 平成２８年度から１ヶ月あたり５、４００円から４、５００円分の給付とし、所得制限を介護保険料所得段階の第８段階から第５段階（本人市民税非課税）へ、それぞれ見直した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	要介護１～５で、寝たきりや認知症により２４時間紙おむつを必要としている在宅で介護を受けている６５歳以上の高齢者
目的(何のために)	要介護高齢者の居宅での生活の安定を図ることや、介護者の介護負担及び経済的負担を軽減するため
手段(どのようなやり方で)	民生委員を通じて、紙おむつ券（１ヶ月４、５００円分）を支給する。
成果(どのような状態にするのか)	要介護高齢者の衛生向上と、介護者の介護負担及び経済的負担を軽減する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	72,801	75,745	83,392	86,989	90,130	93,387	96,764
事業費	70,734	73,639	81,286	84,883	88,024	91,281	94,658
国庫支出金	27,233	28,351	31,295	32,680	33,889	35,143	36,443
県支出金	13,616	14,176	15,648	16,340	16,945	17,572	18,222
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	16,269	16,936	18,696	19,523	20,246	20,995	21,771
一般財源	13,616	14,176	15,647	16,340	16,944	17,571	18,222
人件費計	2,067	2,106	2,106	2,106	2,106	2,106	2,106
事務・技術（人）	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

326 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0109
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 00409 紙おむつ給付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-06-00	紙おむつ給付事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)紙おむつ引換取扱薬局数	箇所	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00
		104.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)紙おむつ給付者数	人	1,540.00	1,621.00	1,697.00	1,776.00	1,859.00	1,859.00	1,859.00
		1,542.00	1,592.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		地域支援事業（任意事業）に基づくものであり妥当である			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		低所得高齢者の在宅生活支援及び家族介護者支援に有効である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		申請・交付手段に見直しが必要			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		在宅介護を支える施策の一つとして、大変重要である			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	要介護者の需要は高く、必要な事業であるが、現在民生委員を通じての申請手続きとなっており、実施にあたって民生委員の負担、プライバシーの確保、対面での交付が困難などの課題があることから、手法の見直しを検討する。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	要介護高齢者の衛生向上と介護者の介護負担軽減のために必要な事業であり、手法の見直しについて検討を加えながら事業を継続する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00409 紙おむつ給付事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)紙おむつ引換取扱薬局数	箇所	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00	110.00
		104.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	紙おむつ引換取扱の薬局数						
(成果)紙おむつ給付者数	人	1,540.00	1,621.00	1,697.00	1,776.00	1,859.00	1,859.00	1,859.00
		1,542.00	1,592.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	紙おむつ引換の給付者数						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0110
評価年度令和 5年度
所属1437
事務事業番号02061

進捗区分評価完了
健康保険部長寿政策課
認知症施策推進事業

所属長名白川 武史
記入者河瀬 佳世

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実			
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築			
事務事業	014	認知症施策推進事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	共生社会の実現を推進するための認知症基本法				
事業概要	(事業概要) 認知症の人やその家族が地域で安心して暮らしていくことができるよう、医療、介護、地域が連携し、認知症施策を推進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国においては、これまでの認知症施策推進大綱に加え、認知症基本法が成立し、令和6年1月に施行された。 (見直しや改善等の経過) 平成26年度に認知症カフェ等の事業を実施して以降、認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チームの設置、大津市認知症高齢者等個人賠償責任保険事業の実施など事業を拡充し取り組んでいる。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	認知症の人及びその家族
目的(何のために)	認知症の人の早期発見・早期対応、居場所づくり、家族介護者への支援
手段(どのようなやり方で)	医療、介護、地域の関係者、行政等が連携して、認知症の人とその家族を支援する。
成果(どのような状態にするのか)	認知症になっても住み慣れた地域で、安心して生活することができる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		11,703	15,238	16,657	18,174	18,174	18,174	18,174
事業費		3,758	4,266	7,479	8,996	8,996	8,996	8,996
	国庫支出金	1,447	1,642	2,879	3,463	3,463	3,463	3,463
	県支出金	723	819	1,435	1,727	1,727	1,727	1,727
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	864	981	1,720	2,069	2,069	2,069	2,069
	一般財源	724	824	1,445	1,737	1,737	1,737	1,737
	人件費計	7,945	10,972	9,178	9,178	9,178	9,178	9,178
事務・技術（人）		0.18	0.18	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	2.11	2.99	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

329 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0110
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 02061 認知症施策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-05-68-00-08-00	認知症施策推進事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 認知症カフェ開催数	回	110.00	110.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		100.00	139.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 認知症カフェ参加者数	人	1,000.00	1,000.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00	2,500.00
		1,554.00	2,221.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		認知症の人とその家族への支援を関係機関が協力して行っている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		家族や地域の人など関係者が幅広く参加し、参加者が増加している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		認知症に関する知識を有する医師等の専門職と連携を行っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		住み慣れた地域で暮らすための環境づくりにつながっている。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	認知症の方やその家族が社会参加できる場所の確保は重要であり、事業の実施箇所を拡充していくとともに、相談しやすい環境づくりによって、さらに多くの方が参加できるよう事業を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりにつながっており、今後も認知症の人の増加が見込まれる中で、事業の充実に向けて取り組んでいく。		

330 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

331 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0111
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 02585
進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
生活支援事業

所属長名 白川 武史
記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	020	生活支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	介護保険法					
事業概要	(事業概要) NPOや民間企業、ボランティア、社会福祉法人等多様な生活支援サービス主体が参画し、定期的に情報共有、連携強化する協議体を開催する。また、高齢者の生活支援サービスの体制整備を推進するため、地域の資源の把握や開発、またネットワーク構築のため生活支援コーディネーターを設置する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加に伴い、介護保険サービス以外の生活支援サービスの必要性が高まっている。民間活動やボランティア活動等を把握し、関係者間の情報共有や実施主体間の連携推進が必要である。(見直しや改善等の経過) 平成28年度に市レベルの第1層コーディネーターを配置し、平成29年度からは保健福祉ブロック（7か所）レベルで第2層コーディネーターを配置している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	単身や夫婦のみ高齢者世帯、認知症高齢者等、生活に困りごとがある高齢者を対象に
目的(何のために)	高齢者の生活支援体制の充実と高齢者の社会参加を図っていくために
手段(どのようなやり方で)	①協議体の設置：多様な実施主体の連携・協働の場 ②生活支援コーディネーターの配置：地域の様々な活動を把握し、ネットワークを構築したり、ニーズと取組をマッチングさせる者 ①②を組み合わせることで推進することで
成果(どのような状態にするのか)	高齢者の暮らしを支えるサービスの情報を、高齢者やその家族、高齢者を支援する者等が簡単に得ることが出来る。また地域にあった課題を明らかにし、課題解決に取り組める担い手を育て、新たなサービス・ネットワークを作る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	36,069	36,115	36,244	41,554	41,554	41,554	41,554
事業費	32,038	32,037	32,166	37,476	37,476	37,476	37,476
国庫支出金	12,335	12,334	12,384	14,428	14,428	14,428	14,428
県支出金	6,167	6,167	6,192	7,214	7,214	7,214	7,214
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	7,368	7,368	7,398	8,619	8,619	8,619	8,619
一般財源	6,168	6,168	6,192	7,215	7,215	7,215	7,215
人件費計	4,031	4,078	4,078	4,078	4,078	4,078	4,078
事務・技術（人）	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47	0.47
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

332 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0111
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 02585 生活支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-05-68-00-06-00	生活支援事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】								上段：目標値	下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
(活動)第1層(市レベル)協議体連携会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)第2層(包括レベル)協議体連携会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)生活支援サービスの公表(専用ホームページ)	団体	330.00	400.00	420.00	440.00	460.00	460.00	460.00	460.00
		297.00	298.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		地域の活動に精通する市社会福祉協議会と連携して事業を推進			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		協議体活動により、関係者のネットワーク化ができています			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		市と社会福祉協議会が一体となって事業を推進している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		高齢者が安心して暮らせるまちづくりに貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	地域包括支援センターと保健福祉ブロックごとに設置している生活支援コーディネーターが連携し、多様な主体の参画による協議体を通して地域の見守りや支援体制の整備を進めている。関係者との情報共有や、実施主体間の連携、ネットワーク構築のため、地域の関係者が多く参加していることから、継続が必要な事業である。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者の生活支援のため、多様な主体の参画により地域の見守り体制を充実させることは重要な取組であることから、引き続き事業を推進する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02585 生活支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)第1層(市レベル)協議体連携会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	高齢者の生活支援サービス実施主体の連携・情報共有の場（市レベル）						
(活動)第2層(包括レベル)協議体連携会議の開催	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	高齢者の生活支援サービス実施主体の連携・情報共有の場（包括レベル）						
(成果)生活支援サービスの公表（専用ホームページ）	団体	330.00	400.00	420.00	440.00	460.00	460.00	460.00
		297.00	298.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	厚生労働省が開設した、生活支援サービス専用ホームページへの公表件数						

事務事業評価シート（１／２）

334 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0112
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 02644

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
家族介護支援事業

所属長名 白川 武史
記入者 河瀬 佳世

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	016	家族介護支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	共生社会の実現を推進するための認知症基本法					
事業概要	（事業概要） 認知症の人とその家族を支援するため、集いや講座の開催、地域での見守り体制を整備するとともに、認知症啓発ウィークやオレンジリングフォーラムの開催等、認知症の理解が進むよう広く市民に向けて啓発を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 認知症の人の増加とともに、家族に対する支援が必要である。 （見直しや改善等の経過） 介護者支援のために平成25年度より「男性介護者のつどい」、平成27年度より「高齢者虐待防止研修」、平成28年度より「3日で学ぶ介護技術教室」などの事業を拡充して展開してきた。また、家族の安心につながるよう平成30年度には行方不明高齢者の早期発見のため「GPS機器貸与事業」を開始し、令和4年度からは専用ケアシューズも選択できるようにした。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	認知症などを理由に介護を担う家族
目的(何のために)	高齢者とその家族を地域で支える環境づくりの推進のため。
手段(どのようなやり方で)	家族介護者向けの集いや学習の場を設け、市民向けの認知症啓発を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	認知症などを理由に介護を必要とする人が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,884	9,815	10,142	12,101	12,101	12,101	12,101
事業費	2,319	2,165	3,508	5,467	5,467	5,467	5,467
国庫支出金	893	834	1,350	2,105	2,105	2,105	2,105
県支出金	446	417	673	1,050	1,050	1,050	1,050
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	533	498	806	1,257	1,257	1,257	1,257
一般財源	447	416	679	1,055	1,055	1,055	1,055
人件費計	5,565	7,650	6,634	6,634	6,634	6,634	6,634
事務・技術（人）	0.32	0.55	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.99	1.05	0.83	0.83	0.83	0.83	0.83
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

335 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0112
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 02644 家族介護支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-11-00	家族介護支援事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)家族介護者向け 集い・講座開催数	回	13. 00	13. 00	13. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00
		13. 00	10. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
(成果)家族介護者向け 集い・講座参加者数	人	150. 00	150. 00	150. 00	180. 00	180. 00	180. 00	180. 00
		133. 00	143. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		家族介護者同士の交流により介護知識・技術の共有が図れている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		参加者数が目標に達していないため。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		事業の一部を委託し、効率化を図っている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		家族介護者の支援が虐待発生の防止に資する施策として重要。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	行方不明高齢者早期発見ダイヤル登録事業の実施、家族介護者向けの集いや学習の場を設けること及び市民向け啓発を行うことにより、認知症の人と家族の会滋賀県支部など関係団体とも連携しながら効果的な事業となるよう事業を推進する。		

【部局評価結果】	総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	認知症の人とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、認知症の理解が広く行き渡ることを意識し、認知症の人と家族の会滋賀県支部など関係団体とも連携しながら効果的な事業となるよう事業を推進する。			

336 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0113
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 02646

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
認知症サポーター養成事業

所属長名 白川 武史
記入者 河瀬 佳世

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実			
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築			
事務事業	013	認知症サポーター養成事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	共生社会の実現を推進するための認知症基本法				
事業概要	（事業概要） 認知症サポーター養成講座の実施を通じて、市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、認知症の人及びその家族を温かく見守り、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指す。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 地域、企業、学校など様々な主体で認知症に関する理解を深めることが必要である。 （見直しや改善等の経過） グループ申込みによる出前講座に加えて、一人からでも参加できる公開型市民講座を実施している。また、職場でも理解が広がるよう企業に対して働きかけを行い、企業職域型認知症サポーターの養成を図っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域の各種団体をはじめ、学校や事業所等、幅広い層の市民
目的(何のために)	認知症に対する正しい知識と理解の普及・啓発
手段(どのようなやり方で)	出前型の講座の開催及び、一人からでも参加できる公開型の講座、地域、企業職域、学校における講座の開催することにより
成果(どのような状態にするのか)	市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、認知症の人及びその家族を温かく見守り、認知症になっても安心して暮らせるまちになる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,698	4,765	3,870	4,057	4,057	4,057	4,057
事業費	313	755	960	1,147	1,147	1,147	1,147
国庫支出金	121	290	369	441	441	441	441
県支出金	60	145	184	220	220	220	220
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	72	173	220	263	263	263	263
一般財源	60	147	187	223	223	223	223
人件費計	3,385	4,010	2,910	2,910	2,910	2,910	2,910
事務・技術（人）	0.12	0.19	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.79	0.79	0.69	0.69	0.69	0.69	0.69
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0113
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 02646 認知症サポーター養成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-12-00	認知症サポーター養成事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)開催数	回	40.00	50.00	60.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		42.00	92.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)受講者数（累計）	人	24,600.00	25,600.00	26,800.00	28,200.00	29,600.00	29,600.00	29,600.00
		24,750.00	26,564.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		様々な地域・企業職域を対象に啓発等を実施している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		幅広く養成講座の開催することにより受講者数が増加した。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		講座開催に当たって、学校・企業等と連携しながら実施した。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		認知症の理解につなげられている。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	出前講座、市民公開講座、企業職域・学校など様々な場面を通じて、認知症の正しい知識の普及が進むよう引き続き取り組む。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	認知症になっても安心して生活できるよう様々な対象者に幅広く認知症の理解が深まることが重要であり、今後も企業や地域等と協力、連携して事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02646 認知症サポーター養成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)開催数	回	40.00	50.00	60.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		42.00	92.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	認知症サポーター養成講座開催数						
(成果)受講者数（累計）	人	24,600.00	25,600.00	26,800.00	28,200.00	29,600.00	29,600.00	29,600.00
		24,750.00	26,564.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	認知症サポーター養成講座受講者数						

事務事業評価シート（１／２）

340 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0114
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 03358

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
一般介護予防事業

所属長名 白川 武史
記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進				
事務事業	005	一般介護予防事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	介護保険法、大津市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱					
事業概要	(事業概要) 住民が主体的に運営する通いの場を充実させ、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりの推進とリハビリテーション専門職等を生かした自立支援に資する取り組みを推進するため、介護予防の正しい理解の普及啓発や地域における住民主体の介護予防活動の育成支援、また、住民主体の通いの場へのリハビリテーション専門職等の派遣を推進する事業を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 人生１００年時代を踏まえ、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者の支え手側となり、自らの役割や生きがいを持ちつつ住み慣れた地域で最期まで暮らすことのできる地域づくりが望まれている。 (見直しや改善等の経過) ・地域介護予防活動支援では平成２８年度に週１回以上活動する団体への補助を追加した。 ・平成３０年度から介護予防サポーター養成講座・応援講座を開始。 ・令和４年度から大学と連携し、高齢者向け惣菜レシピの作成を実施。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	65歳以上の高齢者を対象に
目的(何のために)	要介護状態の発生をできる限り遅らせること及び要介護状態にあってもその悪化をできる限り防ぐことができるよう
手段(どのようなやり方で)	介護予防活動団体への支援や民間スポーツクラブの活用による介護予防教室（介護予防フィットネス事業）の開催、介護予防サポーターの養成、リハビリ専門職の派遣等を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	介護予防に関する正しい理解を進め、介護予防に取り組む高齢者が増える。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	19,108	18,632	19,747	21,969	21,969	21,969	21,969
事業費	14,267	13,894	15,009	17,231	17,231	17,231	17,231
国庫支出金	3,747	3,474	3,753	4,308	4,308	4,308	4,308
県支出金	1,783	1,737	1,877	2,154	2,154	2,154	2,154
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	7,134	6,947	7,505	8,616	8,616	8,616	8,616
一般財源	1,603	1,736	1,874	2,153	2,153	2,153	2,153
人件費計	4,841	4,738	4,738	4,738	4,738	4,738	4,738
事務・技術（人）	0.41	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53	0.53
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

341 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0114
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 03358 一般介護予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-02-15-64-00-01-00	一般介護予防事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)リハビリテーションセラピスト出前講座開催数	回	0.00	0.00	40.00	45.00	50.00	55.00	60.00
(成果)介護予防活動支援事業申請団体数	団体	0.00	0.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)介護予防活動団体助成額	千円	4,200.00	4,950.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		3,580.00	3,928.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)介護予防活動支援団体数	団体	50.00	60.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		49.00	53.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由	高齢者の自立支援・重度化防止につながっている				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由	介護予防活動の再開により団体数、参加者共に増加				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由	リハビリ、運動、通いの場など広く介護予防活動を支援している				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由	高齢者の介護予防活動の継続支援に貢献している				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	高齢者の介護予防活動の充実のため、「通いの場」として介護予防フィットネス事業や介護予防活動団体への支援事業を実施している。新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数や活動団体が少なくなっていたが、活動が再開し、参加者が増加してきたため、利用者の利便性の向上を意識しながら各事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	高齢者自ら介護予防に取組むことは重要なことであり、さらなる介護予防に向けて取組を継続していく。		

342 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0115
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 03399
【基本情報】

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
災害時要支援者対策事業

所属長名 白川 武史
記入者 大伴 正樹

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	009	安心、安全に暮らすことのできるまちにします			
施策	021	災害に強いまちづくりの推進			
取組の方向性	002	地域防災力の向上			
事務事業	003	災害時要支援者対策事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	災害対策基本法				
事業概要	(事業概要) 災害発災時に高齢者等避難行動要支援者に対する避難支援の方策を確保するため、地域に対する避難行動要支援者対策を促進する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 災害の発生に伴い、災害対策基本法の平成25年6月の改正で、避難行動要支援者の名簿作成が義務付けられ、令和3年5月の改正で個別避難計画の作成が市町村に努力義務化された。 (見直しや改善等の経過) 令和4年度に総務部危機・防災対策課内に設置された個別避難計画作成推進室の全体マネジメントのもと、連携しながら個別避難計画作成を進めている。 令和5年度には、令和2年度に導入した避難行動要支援者システムにおいて、地域において名簿をより効果的に活用いただけるよう、ハザードエリアに居住する要支援者を抽出し名簿に表示できるよう改修を行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	在宅の高齢者等避難行動要支援者の
目的(何のために)	発災時における生命及び身体の安全を確保するため
手段(どのようなやり方で)	避難支援等関係者へ啓発や情報発信、要支援者情報の提供等を通じ
成果(どのような状態にするのか)	災害が発生した際の安心・安全を確保する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		3,490	5,105	5,067	6,499	4,140	4,152	4,152
事業費		986	2,339	2,525	3,957	1,598	1,610	1,610
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		986	2,339	2,525	3,957	1,598	1,610	1,610
人件費計		2,504	2,766	2,542	2,542	2,542	2,542	2,542
事務・技術（人）		0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.38	0.45	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

344 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0115
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 03399 災害時要支援者対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-51-00-45-00	災害時要支援者対策事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)避難行動要支援者名簿（平常時用）交付数	箇所	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		19.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)地区防災計画への要支援者対策の掲載計画数	箇所	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00	36.00
		22.00	23.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		災害時の要支援者対策は、生命に関わる重要な対策である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		名簿の提供は、地域における災害時対策の検討に有効である。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		有事の際、地域での迅速な対応が可能となる。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		災害時に要支援者への対応は極めて重要である。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	自主防災会等の地域の避難支援等関係者に対する平常時からの名簿提供に同意された方を掲載した名簿について、地域に対する説明を重ねて提供が進んでおり、引き続き目標が達成できるよう取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	要支援者名簿の提供団体の拡大を図るために、自主防災会等に説明し、名簿が提供できていない学区の協力を得られるよう引き続き取り組んでいきたい。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 03399 災害時要支援者対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)避難行動要支援者名簿（平常時用）交付数	箇所	36.00 19.00	36.00 20.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
	指標説明	避難行動要支援者名簿（平常時用）の地域提供の協定先数						
(成果)地区防災計画への要支援者対策の掲載計画数	箇所	36.00 22.00	36.00 23.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00	36.00 0.00
	指標説明	地区防災計画への要支援者対策の掲載計画数						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0116
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 04158

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

所属長名 白川 武史
記入者 土蔵 吉彦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	057	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法、介護保険法					
事業概要	（事業概要） 高齢者の健康増進を図り、できる限り健やかに過ごせるよう、医療、介護、健診等のデータ分析による地域の健康課題の把握を行い、高齢者への個別的支援（ハイリスクアプローチ）及び通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 高齢者は複数の慢性疾患に加え、認知機能や社会的なつながりが低下するといったいわゆるフレイル状態になりやすい傾向がある。このため、高齢者の心身の多様な課題に応じてきめ細かな生活習慣病予防等の疾病予防と生活機能維持のための介護予防を一体的に実施していく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 法改正により、令和2年4月から市町村が中心となって高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進するための体制の整備が進められることとなり、大津市は令和3年度から事業を実施している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	主に75歳以上の後期高齢者を対象に
目的(何のために)	生活習慣病予防等の疾病予防と生活機能維持のために
手段(どのようなやり方で)	医療、介護、健診等のデータ分析により、専門職による高齢者への個別的支援及び通いの場等への積極的な関与を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	高齢者が地域で健康的な生活を送れるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	20,603	26,723	34,710	51,954	51,954	51,954	51,954
事業費	11,000	16,049	23,332	40,576	40,576	40,576	40,576
国庫支出金	1,054	2,687	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	9,946	13,362	19,316	33,592	33,592	33,592	33,592
一般財源	0	0	4,016	6,984	6,984	6,984	6,984
人件費計	9,603	10,674	11,378	11,378	11,378	11,378	11,378
事務・技術（人）	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79	0.79
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.11	1.41	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

347 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0116
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 04158
進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-51-00-55-00	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】

指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
（活動）シニア向け健康トレーニング教室開催箇所数		箇所	0.00	0.00	5.00	6.00	7.00	8.00	9.00
（成果）シニア向け健康トレーニング教室参加者数		人	0.00	0.00	340.00	500.00	680.00	880.00	1,100.00
（活動）健康いきいき講座開催数		回数	110.00	120.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）健康いきいき講座受講者数		人	1,700.00	1,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			436.00	1,008.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由	高齢者の生活習慣病対策やフレイル対策に効果的である				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由	健康状態の維持改善につながった				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由	I C Tの活用で健康状態の見える化が図れる				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由	高齢者の健康増進に貢献している				
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント （400文字）	これまで別々に展開されていた生活習慣病対策やフレイル対策、介護予防を一体的に実施することで、高齢者の生活習慣病等の重症化予防及び健康寿命の延伸につながる重要な事業であることから、対象者の拡大など積極的に事業を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント （400文字）	高齢者は慢性疾患に加え、フレイル状態になりやすい傾向があり、疾病予防と介護予防を一体的に実施することは効果的であることから、健康寿命の延伸のため、通いの場への積極的関与や専門職による個別的支援事業を推進する。		

348 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

349 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0117
評価年度 令和 5年度
所属 1437
事務事業番号 04220
【基本情報】

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿政策課
フレイル予防事業

所属長名 白川 武史
記入者 土蔵 吉彦

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実			
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進			
事務事業	023	フレイル予防事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等					
事業概要	介護予防の啓発を早い時期に行うため、65歳の方に「フレイル（虚弱）予防」「健康な生活を送る意識づけ」を目的として、介護予防パンフレットと併せて市で実施している一般介護予防事業の周知を行う。また、無料体験クーポンの配布を行い、「フィットネスジム等の運動体験」、「歯科口腔チェック」、「栄養講座とバランスのとれた食事の試食」、「はり・きゅう・あん摩マッサージ」、「低栄養予防のためのミールキット」の5項目のメニューの中から1つを選択して体験してもらい、日常生活上の運動習慣や口腔機能、食生活に留意すること、意識的に自身の心身状態を振り返るきっかけづくりとする。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	コロナ禍の中では、外出や人との交流の機会の減少から筋力低下、食欲の低下など心身への影響（コロナフレイル）が出ていたが、感染症法上の分類見直しされたことで、外出や交流の機会が回復してきた。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	65歳になる高齢者を対象に
目的(何のために)	介護予防の啓発を行い、フレイル（虚弱）予防、健康な生活を送る意識づけのために
手段(どのようなやり方で)	フレイル予防啓発パンフレットと無料体験クーポンを発送し、対象者がメニューの1つを選択して体験してもらうことで
成果(どのような状態にするのか)	フレイル（虚弱）予防、健康な生活を送る意識づけができ、フレイル予防、介護予防につながる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		5,602	6,806	8,227	16,917	16,917	16,917	16,917
事業費		2,717	3,760	5,181	13,871	13,871	13,871	13,871
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		2,715	3,752	5,181	0	0	0	0
一般財源		2	8	0	13,871	13,871	13,871	13,871
人件費計		2,885	3,046	3,046	3,046	3,046	3,046	3,046
事務・技術（人）		0.35	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37	0.37
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

350 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0117
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1437 健康保険部長寿政策課
事務事業番号 04220 フレイル予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-65-00-11-00	フレイル予防事業費	健康保険部長寿政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
（活動）無料体験クーポン利用者数	人	580.00	600.00	620.00	640.00	660.00	680.00	700.00
		290.00	499.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（成果）無料体験クーポンアンケート	枚	580.00	600.00	620.00	640.00	660.00	680.00	700.00
		279.00	303.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		B
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		利用者数が目標に達していないため、実施手段に改善が必要			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		目標に達していないが健康についての意識付けにつながっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		対象者へ直接無料体験クーポンと介護予防の案内を送付している			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		高齢者の健康増進に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	フレイル予防につながる無料体験クーポンと介護予防を意識してもらうための案内を直接送付することで、フレイル予防のきっかけづくり、健康な生活を送るための意識づけを目的とした事業である。今後も利用が促進されるよう改善を図りながら事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	フレイル予防対策を実施していくことは健康寿命の延伸に効果的であるため、今後も改善を図りながら、より対象者への意識付けが広がるよう考慮し事業に取り組む。		

351 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0118
評価年度 令和 5年度
所属 1489
事務事業番号 00321

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿施設課
老人デイサービス運営事業

所属長名 岩村 聡
記入者 中村 泰彰

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	003	老人デイサービス運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	介護保険法、老人デイサービスセンター条例					
事業概要	(事業概要) デイサービスセンターにおいて、在宅の要支援・要介護認定者に対して、通所により各種サービスを提供し心身機能の維持向上を図るとともに、介護者の負担軽減を図る。 また、シルバーハウジング（公営住宅）の生活援助員派遣等を委託し、高齢者の生活を支援する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 介護保険制度開始以降、民間事業所が多く参入、増加したことにより、公が実施するデイサービス事業の役割は低下してきたが、地域性等により、民間のみで賄えないニーズの受け入れが必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成18年度より指定管理による事業運営を開始し、平成30年度には4つのデイサービス事業所のうち3つを大津市社会福祉事業団に事業移管した。令和3年度末には、事業移管したデイサービスセンターのうち、三大寺デイサービスセンターの事業が廃止された。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	要支援・要介護認定者に
目的(何のために)	在宅の要支援者・要介護者の心身機能の維持向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	通所介護サービス及び生活援助員による支援を提供し
成果(どのような状態にするのか)	在宅での生活を確保するとともに、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	40,839	33,658	41,354	45,869	101,340	41,340	41,340
事業費	38,499	32,644	39,014	43,529	99,000	39,000	39,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	6,400	0	0	0
その他	4,244	3,977	4,653	4,653	52,653	4,653	4,653
一般財源	34,255	28,667	34,361	32,476	46,347	34,347	34,347
人件費計	2,340	1,014	2,340	2,340	2,340	2,340	2,340
事務・技術（人）	0.30	0.13	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

353 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0118
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1489 健康保険部長寿施設課
事務事業番号 00321 老人デイサービス運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-73-00-01-00	老人デイサービス運営委託事業費	健康保険部長寿施設課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)延営業日	日数	254.00	254.00	256.00	255.00	254.00	255.00	254.00
		247.00	253.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者数	人	7,600.00	7,108.00	7,347.00	7,586.00	7,556.00	7,586.00	7,556.00
		6,246.00	6,634.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		基準			評価
評価項目	評価の観点				
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	民間事業所数が少ない地域でのみ指定管理者で実施している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	昨年度と比べて利用者数が増加している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	指定管理者によるノウハウを活用している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	通所介護のニーズの受け皿としての機能を有している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	本市が実施するデイサービス事業については、廃止していく方向性であるが、志賀地域では、民間事業所数が少ないことや高齢化率が高いことから、在宅支援のため事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	民間事業所が少ない志賀地域において、要介護者等の心身機能の維持向上と介護者の負担軽減に寄与している。今後も地域の状況や民間事業所数の動向等を見極めながら、事業を進めていく。		

354 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0119
評価年度 令和 5年度
所属 1489
事務事業番号 00324

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿施設課
高齢者健康生きがい施設管理事業

所属長名 岩村 聡
記入者 中村 泰彰

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実			
取組の方向性	001	高齢者が元気で活躍する暮らしの推進			
事務事業	009	高齢者健康生きがい施設管理事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市立老人憩の家条例				
事業概要	(事業概要) 市内５か所に設置した老人憩の家を、老人クラブ活動、教養向上のための活動、レクリエーション活動等の場として提供し、高齢者の心身の健康増進と生きがい充実を図る。また、高齢者が身近な場所で気軽に軽スポーツができる健康広場を維持管理し、高齢者の健康増進を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 利用・運営の中心である老人クラブの会員数の減少により、憩の家の運営委託が難しくなっている。老人健康広場の利用状況も同様である。 (見直しや改善等の経過) 憩の家の運営にかかる老人クラブへの支援と施設の機能維持・経年劣化による小規模修繕を実施。地元老人クラブが解散して利用が減っていた膳所老人憩の家については、平成３１年３月末で廃止した。また、伊香立老人憩の家についても、伊香立保育園園舎移転に伴い令和６年３月末で廃止した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内に居住する６０歳以上の方
目的(何のために)	高齢者の福祉の増進のために
手段(どのようなやり方で)	地域での老人クラブ活動、教養向上のための活動、レクリエーション活動のための場として老人憩の家を提供し、また軽スポーツのできる健康広場の維持管理を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	高齢者の心身の健康増進と生きがい充実を図る。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		17,966	15,659	19,401	27,526	19,340	19,340	19,340
事業費		14,534	13,319	17,061	25,186	17,000	17,000	17,000
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	1,000	7,200	0	0	0
その他		251	210	251	251	251	251	251
一般財源		14,283	13,109	15,810	17,735	16,749	16,749	16,749
人件費計		3,432	2,340	2,340	2,340	2,340	2,340	2,340
事務・技術（人）		0.44	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

356 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0119
評価年度 令和 5年度
所属 1489
事務事業番号 00324

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿施設課
高齢者健康生きがい施設管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-87-00-01-00	高齢者健康生きがい施設管理費	健康保険部長寿施設課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 老人憩の家開館日数	日	293.00	293.00	294.00	292.00	291.00	293.00	293.00
		298.00	288.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 老人健康広場（長寿施設課管理）設置数	箇所	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
		17.00	17.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 老人憩の家利用者数	人	14,500.00	12,000.00	12,000.00	12,200.00	12,400.00	12,600.00	12,800.00
		11,060.00	11,765.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 老人憩の家入浴事業利用者数	人	9,500.00	7,200.00	7,300.00	7,400.00	7,500.00	7,600.00	7,700.00
		7,189.00	7,195.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由		地域の高齢者による自主的な運営になっている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由		昨年度と比べ利用者数が増加した。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由		運営は地域に委ねており効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		B
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由		地域高齢者の健康増進と生きがいづくりの場となっている。			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	憩の家や老人健康広場については、地域により利用頻度・活用方法に違いがあることから、地域性、設備状況等に合わせた運営が必要である。今後も地域の実状に見合った運営ができるよう地元の運営委員会等と連携して取り組んでいく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域の高齢者が自主的に運営し、健康増進や憩いの場として利用が図られており、引き続き、地域性等に合わせた運営に努め、地元の運営委員会等と連携して事業を進めていく。		

357 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

358 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0120
評価年度 令和 5年度
所属 1489
事務事業番号 02098

進捗区分 評価完了
健康保険部長寿施設課
地域密着型サービス施設整備補助事業

所属長名 岩村 聡
記入者 山本 悠貴

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実				
取組の方向性	002	地域包括ケアシステムの構築				
事務事業	010	地域密着型サービス施設整備補助事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	大津市介護施設等整備費補助金交付要綱					
事業概要	(事業概要) 大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の整備目標数値に基づき、地域密着型サービスの提供施設を確保するため、事業者公募を行い、大津市地域密着型サービス・施設サービス審査委員会にて選考の結果、補助事業として採択された事業計画の施設整備に対する補助を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 引き続き要支援・要介護認定者数の増加が見込まれる中で、介護サービス事業所や介護保険施設の計画的な整備が必要である。 (見直しや改善等の経過) ・要支援・要介護認定者の増加に対応するため、地域密着型特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護及び認知症対応型通所介護等に対して、国・県の交付金を活用して整備促進を図ってきた。 ・令和6年度より第9期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の整備目標数に基づき、施設整備に対する補助を行っていく。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域密着型サービスを整備する法人に
目的(何のために)	大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、要支援・要介護認定者の増加に対応するために
手段(どのようなやり方で)	国・県の交付金等を活用し、その施設の建築工事費、開設準備経費に対する事業費を補助することで
成果(どのような状態にするのか)	地域密着型サービス事業所の施設整備を推進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	98,384	61,112	23,309	52,450	4,680	4,680	4,680
事業費	95,966	59,474	19,175	47,770	0	0	0
国庫支出金	47,178	57,253	0	0	0	0	0
県支出金	48,702	0	0	47,770	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	86	247	19,175	0	0	0	0
一般財源	0	1,974	0	0	0	0	0
人件費計	2,418	1,638	4,134	4,680	4,680	4,680	4,680
事務・技術(人)	0.31	0.21	0.53	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0120
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1489 健康保険部長寿施設課
事務事業番号 02098 地域密着型サービス施設整備補助事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-20-51-00-17-00	地域密着型サービス施設整備補助事業費	健康保険部長寿施設課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)地域密着型サービス事業所の整備済事業所数	施設	91.00	94.00	83.00	88.00	88.00	88.00	88.00
		81.00	83.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)地域密着型サービス事業所の総定員	人	1,741.00	1,777.00	1,554.00	1,614.00	1,614.00	1,614.00	1,614.00
		1,527.00	1,554.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
	B		ほぼ妥当である			
	C		あまり妥当ではない			
	D		妥当ではない			
	評価理由	施設整備を促進するため、補助金の交付は手段として有効である。				
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		B
	B		やや上がっている			
	C		あまり上がっていない			
	D		上がっていない			
	評価理由	一部未整備の介護サービスもあるが、整備は着実に進んでいる。				
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
	B		やや効率的である			
	C		あまり効率的でない			
	D		効率的でない			
	評価理由	施設整備促進のため、手法として効率的である。				
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
	B		やや貢献している			
	C		あまり貢献していない			
	D		貢献していない			
	評価理由	高齢者の福祉・介護の充実に貢献している。				
	評価理由					

【所属評価結果】		総合評価		計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)				第8期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において目標に掲げた地域密着型サービスの整備は着実に進んできている。令和6年度も事業者を公募の上、「大津市地域密着型サービス・施設サービス審査委員会」において選考し、採択された事業主体に対して整備に必要な財政支援を行う。また、第9期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の方針に基づく整備目標の達成を目指していく。		

【部局評価結果】		総合評価		計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)				第8期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において目標に掲げた地域密着型サービスの整備は着実に進んできており、第9期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画においても事業者に対して地域密着型サービスの整備支援を行うとともに、市民が住み慣れた地域で介護保険サービスが利用できるよう、事業を進めていく。		

360 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0121
評価年度令和 5年度
所属1426
事務事業番号00362

進捗区分 評価完了
健康保険部介護保険課
賦課徴収事業

所属長名 北 良典
記入者 池西 好史

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	006	安定した社会保障制度の運営			
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援			
事務事業	042	賦課徴収事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	介護保険法、大津市介護保険条例				
事業概要	(事業概要) 介護保険事業に要する経費に充てるため、介護保険第1号被保険者から保険料を徴収し、未納者には督促・催告を行い、資格喪失等に伴う過誤納金の処理を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 高齢者人口の増加に伴う介護給付費の伸びにより、介護保険料も制度開始時と比べて増額している。 (見直しや改善等の経過) 国及び県からの低所得者保険料軽減負担金の交付を受け、令和元年10月から非課税世帯の保険料を軽減している。また高額かつ困難な滞納案件については収納課へ債権移管手続きを行い、徴収体制の連携を図っている。				

【事業分析】					
対象(何又は誰を)	介護保険第1号被保険者が納める保険料が、				
目的(何のために)	介護保険事業に要する費用の財源として確保するために、				
手段(どのようなやり方で)	政令で定める基準に従い、条例で定めるところにより保険料を賦課し徴収することで、				
成果(どのような状態にするのか)	現在の収納率を下回ることなく、高い収納率を維持し納められている。				

【コスト】	(単位：千円)						
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	61,632	67,954	68,078	85,468	85,468	85,468	85,468
事業費	29,180	33,314	33,438	50,828	50,828	50,828	50,828
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	29,180	33,314	33,438	50,828	50,828	50,828	50,828
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	32,452	34,640	34,640	34,640	34,640	34,640	34,640
事務・技術(人)	3.08	4.08	4.08	4.08	4.08	4.08	4.08
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

362 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0121
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1426 健康保険部介護保険課
事務事業番号 00362 賦課徴収事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-05-10-05-12-00-01-00	賦課徴収事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 現年度分調定額	千円	6,861,667.00	7,050,794.00	6,381,184.00	6,460,927.00	6,590,146.00	6,721,949.00	6,856,388.00
		7,025,840.00	7,108,773.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 現年度分収納率	%	99.30	99.30	99.50	99.50	99.50	99.50	99.50
		99.47	99.51	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		基準			評価
評価項目	評価の観点				
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	法の規定により市が実施主体になることは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	前年度より収納率が向上していることから成果は上がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	分納等未収対策により収納率は向上しており効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	高い収納率を維持しており介護保険の安定運営に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	保険料の確実な収納を図るため、文書等による督促、催告や当初決定通知の不達調査、滞納者の個別事情に応じた分納相談と分納者の履行確認などの未収対策を講じた結果、前年度と比較して収納率が向上していることから、引き続き各種未収対策等を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	滞納者の個別事情に配慮した納付相談を行うなど丁寧な対応を心掛け、確実な納付につなげることで、現状の高い収納率を維持していく。		

363 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0122
評価年度令和 5年度
所属1426
事務事業番号00363

進捗区分評価完了
健康保険部介護保険課
認定審査会運営事業

所属長名北 良典
記入者谷澤 香

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	006	安定した社会保障制度の運営			
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援			
事務事業	043	認定審査会運営事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	介護保険法				
事業概要	(事業概要) 介護保険法第27条及び第32条の規定に基づき、要介護（要支援）認定を受けようとする被保険者に対し、認定調査票と主治医意見書をもとに、本市が設置している大津市介護認定審査会へ審査判定を依頼し、その審査結果により、要介護（要支援）認定を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 要介護（要支援）認定については、高齢者人口の増加に伴う認定申請者数の増加により、ＤＸの推進などによる効率的な事業運営手法の検討が求められている。 (見直しや改善等の経過) 要介護認定の適正化を推進するため、介護認定審査会委員に対する研修の実施など認定審査の平準化を図ることにより、適正かつ的確な認定審査の実現に努めている。また、リモートでの会議参加を進めるなど、より効率的な介護認定審査会の運営に取り組んでいる。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護保険の被保険者のうち、要介護（要支援）認定の申請者が、
目的(何のために)	介護認定審査会において、介護保険法に定める要介護（要支援）状態区分等の審査判定を受けるために、
手段(どのようなやり方で)	介護保険法に定める認定調査票と主治医意見書に基づき、介護認定審査会で審査判定を行い、
成果(どのような状態にするのか)	適正な要介護（要支援）認定の結果を受けられるようにする。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	64,246	64,113	72,358	71,248	71,248	71,248	71,248
事業費	41,200	41,159	49,404	48,294	48,294	48,294	48,294
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	41,200	41,159	49,404	48,294	48,294	48,294	48,294
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	23,046	22,954	22,954	22,954	22,954	22,954	22,954
事務・技術（人）	2.43	2.43	2.43	2.43	2.43	2.43	2.43
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.32	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２／２）

365 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0122
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1426 健康保険部介護保険課
事務事業番号 00363 認定審査会運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-05-15-05-14-00-01-00	認定審査会運営事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 認定審査件数	件	15,000.00	15,000.00	15,000.00	17,000.00	17,000.00	17,000.00	17,000.00
		14,156.00	13,614.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 認定審査会開催回数	回	510.00	510.00	510.00	560.00	560.00	560.00	560.00
		533.00	517.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 平均申請処理期間	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		73.17	73.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 不服申立件数	件	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		法の規定により市が実施主体となることは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		不服申立がわずか1件であることから成果は上がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		認定審査会開催回数が目標を上回っていることから効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		介護認定を適正かつ的確に実施しており貢献出来ている。			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	研修等の実施により、介護認定審査会委員等の資質向上や認定審査の平準化・水準維持を図っており、要介護認定の適正化が推進されている。また、リモートでの会議参加を進めており、審査会運営の効率化も図れている。今後は、DXによる審査会関連業務のペーパーレス化等を推進するため、情報収集及び分析を行う。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	研修等により要介護認定の適正化を推進し、適正な認定審査に努めるとともに、DX推進による審査会運営の更なる効率化に取組む。		

366 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0123
評価年度令和 5年度
所属1426
事務事業番号00364

進捗区分評価完了
健康保険部介護保険課
認定調査事業

所属長名北 良典
記入者谷澤 香

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	006	安定した社会保障制度の運営			
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援			
事務事業	044	認定調査事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	介護保険法				
事業概要	(事業概要) 介護保険法に規定する要介護（要支援）認定を受けようとする被保険者の認定調査について、本市または本市が委託する居宅介護支援事業者等により行うとともに、主治医意見書の作成を依頼して回収し、それらの内容を点検して適正な審査判定資料を作成する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 要介護（要支援）認定については、高齢者人口の増加に伴う認定申請者数の増加により、効率的な事業運営手法の検討が求められている。 (見直しや改善等の経過) 要介護認定の適正化を推進するため、研修等の実施により認定調査員の資質向上を図るとともに、認定調査事務の適正かつ効率的な執行に努めている。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	本市介護認定調査員及び居宅介護支援事業者等が、
目的(何のために)	介護認定審査会において、要介護（要支援）認定申請者の心身状態が適正に審査判定されるために、
手段(どのようなやり方で)	研修等の実施により調査内容の水準維持及び平準化に取り組み、認定調査員の資質向上を図ることで、
成果(どのような状態にするのか)	正確かつ適正な審査判定資料を作成するための、適切な認定調査が行えるようになる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		216,340	212,372	233,448	246,766	246,766	246,766	246,766
事業費		117,282	111,690	132,766	146,084	146,084	146,084	146,084
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	117,282	111,690	132,766	146,084	146,084	146,084	146,084
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	人件費計	99,058	100,682	100,682	100,682	100,682	100,682	100,682
事務・技術（人）		2.43	2.43	2.43	2.43	2.43	2.43	2.43
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	25.84	25.54	25.54	25.54	25.54	25.54	25.54
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

事務事業評価シート（2/2）

368 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0123
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1426 健康保険部介護保険課
事務事業番号 00364 認定調査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-05-15-05-15-00-01-00	認定調査事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)調査件数（委託）	件	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00	9,000.00
		7,937.00	7,108.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)〃（職員）	件	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00
		6,314.00	6,659.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)平均調査処理期間	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		90.91	90.91	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)不服申立件数	件	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		法の規定により市が実施主体となることは妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		資質向上による適正な調査が出来ており成果は上がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		B
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		平均調査処理期間は維持できていることからやや効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		適正な審査判定資料が作成されており貢献出来ている。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	研修等の実施により認定調査員の資質向上を図っており、今後も適切な調査が実施できるよう、研修等の取組を継続していく。また、今後、更なる認定申請者数の増加に対応するため、認定調査のDX推進に向け既導入自治体の情報収集や先進地視察等の取組を進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	研修等により認定調査員の資質の向上や調査内容の水準維持及び平準化に取り組むとともに、認定調査のDXを進める。		

369 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号 0124
評価年度 令和 5年度
所属 1426
事務事業番号 00393

進捗区分 評価完了
健康保険部介護保険課
介護給付等費用適正化事業

所属長名 北 良典
記入者 辻井 深雪

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	006	安定した社会保障制度の運営			
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援			
事務事業	045	介護給付等費用適正化事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	介護保険法				
事業概要	(事業概要) 介護保険サービスの利用者に、１年間に支給した介護給付費の実績を通知することにより、介護保険サービスにかかる給付額を認識してもらうとともに、ケアプランチェックや住宅改修・福祉用具の実態調査等を実施することにより介護保険サービスの適正な利用を促進し、介護保険給付の適正化を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 介護保険制度発足以来、要介護（支援）認定者数及び介護給付費は増加の一途をたどり、介護サービスを真に必要なとする受給者に過不足なく提供するために、介護給付適正化が求められている。 (見直しや改善等の経過) 国の指針において、給付適正化主要５事業が３事業に再編されたことから、令和６年度以降は指針に基づき、再編後の３事業を実施し、介護給付の適正化を推進していく。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護保険の給付を、
目的(何のために)	介護保険サービス給付額を認識してもらうとともに、介護保険サービスの適正な利用を促進するために、
手段(どのようなやり方で)	給付費通知の送付、ケアプランチェック及び住宅改修・福祉用具の実態調査等を実施することで、
成果(どのような状態にするのか)	過不足なく適正に行う。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,112	6,113	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620
事業費	2,532	2,493	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,532	2,493	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	3,580	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620	3,620
事務・技術（人）	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

371 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0124
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1426 健康保険部介護保険課
事務事業番号 00393 介護給付等費用適正化事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-10-74-00-01-00	介護給付等費用適正化事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)住宅改修の実態調査の件数	件	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
		45.00	45.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)ケアプラン点検の実施件数	件	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)過誤調整の実施割合	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)介護給付費通知発送件数（利用者実人数）	件	15,200.00	15,200.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		14,665.00	15,173.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		保険者である市が事業を実施する必要があると妥当である。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		適切な介護サービスの提供が行えており成果は上がっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		専門職である適正化調査員の配置により効率的に実施できている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		介護サービスの適正利用につながっており貢献している。			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	「第5期大津市介護給付適正化計画」による主要5事業（要介護認定の適正化、ケアプラン点検、住宅改修等の点検、縦覧点検・医療情報との突合、介護給付費通知）に取り組み、適正化を図ってきた。令和6年度以降は、国の指針に基づき主要3事業（要介護認定の適正化、ケアプラン等の点検、医療情報との突合・縦覧点検）を柱とした「第6期大津市介護給付適正化計画」により、介護給付の適正化を推進していく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	専門性の高い適正化調査員を配置し、「大津市介護給付適正化計画」に掲げる事業に取り組むことで、引き続き保険給付の適正化に努める。		

372 頁
令和 6年 9月18日

評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了
所属	1426	健康保険部介護保険課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00393	介護給付等費用適正化事業	

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)住宅改修の実態調査の件数	件	45.00 45.00	45.00 45.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00	45.00 0.00
	指標説明	現場確認を行った件数／年						
(活動)ケアプラン点検の実施件数	件	0.00 0.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	ケアプランの点検を実施した件数／年（令和5年度から、より適切な指標を設定した）						
(成果)過誤調整の実施割合	%	0.00 0.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	医療情報との突合や縦覧点検による過誤調整を実施した割合（令和5年度から、より適切な指標を設定した）						
(活動)介護給付費通知 発送件数（利用者実人数）	件	15,200.00 14,665.00	15,200.00 15,173.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	介護給付費通知を発送した件数（国の事業見直しにより、令和5年度で終了する）						
(成果)問合せ件数（利用者から）	件	35.00 33.00	35.00 44.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	介護サービス利用者からの介護給付費通知内容についての問合せ件数（国の事業見直しにより、令和5年度で終了する）						

272

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0125
評価年度令和 5年度
所属1403
事務事業番号00439

進捗区分 評価完了
健康保険部保険年金課
心身障害者等医療費助成事業

所属長名 中江 英樹
記入者 中嶋 健

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	005	障害者の福祉の充実				
取組の方向性	002	障害福祉サービス等の充実				
事務事業	018	心身障害者等医療費助成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市医療費助成条例・大津市重度心身障害老人等福祉助成費支給要綱					
事業概要	(事業概要) 心身障害者等に対して医療費の自己負担分の一部を助成する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 障害のある人が必要とする支援や社会参画のあり方が多様化している。 (見直しや改善等の経過) 平成16年8月から助成対象者、配偶者及び扶養義務者に対して所得制限を設けた。平成17年8月からは滋賀県補助金制度改正により、市民税課税世帯に対して自己負担を導入。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	身体障害者、知的障害者、精神障害者
目的(何のために)	医療費の自己負担分の一部を助成し、その保健向上に寄与する。
手段(どのようなやり方で)	対象者が支払うべき医療保険の自己負担分をその者に代わり医療機関等に支払う。 県外受診等受給券が使用できなかった者に医療費の支給申請により償還払いを行う。
成果(どのような状態にするのか)	障害者の経済的な負担が軽減され、安心して適切な医療が受けられる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	755,266	797,273	792,553	859,815	859,815	859,815	859,815
事業費	745,490	789,655	785,881	853,143	853,143	853,143	853,143
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	261,995	272,954	323,879	272,954	272,954	272,954	272,954
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	145,781	161,888	134,642	161,888	161,888	161,888	161,888
一般財源	337,714	354,813	327,360	418,301	418,301	418,301	418,301
人件費計	9,776	7,618	6,672	6,672	6,672	6,672	6,672
事務・技術(人)	1.15	0.87	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.26	0.26	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

374 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0125
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1403 健康保険部保険年金課
事務事業番号 00439 心身障害者等医療費助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-05-10-18-00-01-00	障害者医療費助成事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)助成対象者数	人	6,300.00	6,500.00	6,762.00	6,762.00	6,762.00	6,762.00	6,762.00
		6,510.00	6,762.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)助成総額	千円	734,684.00	746,099.00	771,549.00	838,137.00	838,137.00	838,137.00	838,137.00
		731,159.00	775,228.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人あたりの助成額	千円	117.00	117.00	117.00	117.00	117.00	117.00	117.00
		112.31	114.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		医療費を助成することにより安心して医療が受けられている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		心身障害者等の経済的負担の軽減が図られている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		主に現物給付で医療費を支払うため効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		経済的負担の軽減により障害者福祉の充実に寄与している。			
	評価理由					

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	障害者が安心して医療を受けられるよう現行制度を継続する。また、令和6年度からは制度を拡充し、これまで精神科通院のみを助成対象としていた精神障害者保健福祉手帳1級等の方について全診療科を助成対象とする。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	心身障害者等の経済的負担を軽減することにより、障害のある方が安心して医療を受けられるよう支援できた。また、令和6年4月診療分から制度を拡充し、これまで精神科通院のみを助成対象としていた精神障害者保健福祉手帳1級を所持されている方等についても全診療科を助成対象とする。今後も限られた財源の中で障害者の福祉の充実が図れるよう、継続的な事業実施に取り組む。		

375 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

376 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0126
評価年度令和 5年度
所属1403
事務事業番号00533

進捗区分評価完了
健康保険部保険年金課
母子家庭等医療費助成事業

所属長名中江 英樹
記入者中嶋 健

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	006	安定した社会保障制度の運営			
取組の方向性	002	自立支援の推進			
事務事業	013	母子家庭等医療費助成事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市医療費助成条例・大津市重度心身障害老人等福祉助成費支給要綱				
事業概要	(事業概要) 母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦に対して医療費の自己負担分の一部を助成する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 就労収入の低迷、子育て等による日常生活の負担増などにより貧困状態にある母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦世帯の経済的支援が必要となっている。 (見直しや改善等の経過) 平成１６年８月から対象者本人、扶養義務者に対して所得制限を設けた。平成１７年８月からは滋賀県福祉医療費助成事業補助金制度改正により、市民税課税世帯の対象者に対して自己負担を導入。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦
目的(何のために)	医療費の自己負担分の一部を助成し、その保健向上に寄与する。
手段(どのようなやり方で)	対象者が支払うべき医療保険の自己負担分をその者に代わり医療機関等に支払う。 県外受診等受給券が使用できなかった者に医療費の支給申請により償還払いを行う。
成果(どのような状態にするのか)	母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦の経済的な不安が軽減され、安心して適切な医療が受けられる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		234,324	253,657	244,505	258,415	258,415	258,415	258,415
事業費		223,772	245,711	237,495	251,405	251,405	251,405	251,405
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		101,203	113,427	111,340	113,427	113,427	113,427	113,427
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		13,630	9,811	13,630	9,811	9,811	9,811	9,811
一般財源		108,939	122,473	112,525	128,167	128,167	128,167	128,167
人件費計		10,552	7,946	7,010	7,010	7,010	7,010	7,010
事務・技術（人）		1.17	0.83	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71
技能労務（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）		0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46
嘱託（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

377 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0126
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1403 健康保険部保険年金課
事務事業番号 00533 母子家庭等医療費助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-25-24-00-01-00	母子家庭等医療費助成事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 助成対象者数	人	6,000.00	6,000.00	5,846.00	5,846.00	5,846.00	5,846.00	5,846.00
		5,915.00	5,846.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 助成総額	千円	239,002.00	216,414.00	230,740.00	244,650.00	244,650.00	244,650.00	244,650.00
		217,018.00	238,691.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 一人あたりの助成額	千円	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		36.69	40.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		医療費を助成することにより安心して医療が受けられている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		ひとり親家庭の経済的負担の軽減が図られている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		主に現物給付で医療費を支払うため効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		経済的負担の軽減によりひとり親家庭の自立支援に寄与している。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	母子家庭、父子家庭、ひとり暮らし寡婦が安心して医療が受けられるよう現行制度を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	母子家庭等の経済的負担を軽減することにより、ひとり親家庭が安心して医療が受けられるよう支援できた。今後も限られた財源の中でひとり親家庭の自立を支援できるよう、継続的な事業実施に取り組む。		

378 頁
令和 6年 9月18日

評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了
所属	1403	健康保険部保険年金課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	00533	母子家庭等医療費助成事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]

事務事業評価シート（１／２）

379 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0127
評価年度令和 5年度
所属1403
事務事業番号00539

進捗区分評価完了
健康保険部保険年金課
国民健康保険料滞納整理事業

所属長名中江 英樹
記入者中村 隆宏

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	006	安定した社会保障制度の運営			
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援			
事務事業	003	国民健康保険料滞納整理事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	国民健康保険法、国税徴収法等				
事業概要	(事業概要) 国民健康保険料について、きめ細やかな納付相談を実施するとともに、納付督促、滞納処分等を行うことにより、被保険者間の公平性の確保と収納率の向上を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国民健康保険は、国民皆保険を実現するための中核としての役割を担っているが、被保険者の年齢構成が高いなどの構造的な課題を抱えている。 (見直しや改善等の経過) 口座振替、コンビニ収納に加え、スマートフォン決済などの時代に即した多様な収納方法を導入しているほか、保険年金課窓等で口座振替の受付ができるPay-easyページー口座振替受付サービスも導入し、被保険者の利便性の向上を図っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	国民健康保険料を滞納している被保険者
目的(何のために)	国民健康保険料の収入の確保
手段(どのようなやり方で)	納付相談、督促状、催告書、差押予告通知の発送、短期被保険者証・被保険者資格証明証の交付、滞納処分等
成果(どのような状態にするのか)	保険料収入を確保することにより、国民健康保険事業の健全かつ安定的な運営を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	60,137	58,747	61,434	63,011	63,011	63,011	63,011
事業費	8,345	6,255	8,228	9,805	9,805	9,805	9,805
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	8,099	1,128	1,284	1,317	1,317	1,317	1,317
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	246	5,127	6,944	8,488	8,488	8,488	8,488
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	51,792	52,492	53,206	53,206	53,206	53,206	53,206
事務・技術(人)	3.23	3.46	3.49	3.49	3.49	3.49	3.49
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	8.58	7.97	8.12	8.12	8.12	8.12	8.12
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

380 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0127
評価年度 令和 5年度
所属 1403
事務事業番号 00539

進捗区分 評価完了
健康保険部保険年金課
国民健康保険料滞納整理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
11-05-10-10-39-00-01-00	国民健康保険料滞納整理事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)滞納者納付額（ 処分＋債権移管）	千円	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00	26,000.00
		29,269.00	33,606.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)滞納処分等件数	件	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	95.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)現年度収納率	%	94.70	94.85	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		95.63	95.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)滞繰分収納率	%	22.73	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		21.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		保険者（市）が滞納処分等を実施している。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		目標値以上の収納率により保険料収入が確保できている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		コストをかけずに納付手段を多様化させている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		保険料収入を確保し、国保財政の安定運営に寄与している。			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	滞納処分等により滞納者納付額が増加したほか、納付督促の強化により現年度収納率も成果目標以上となった。引き続き、個々の事情に応じたきめ細やかな納付相談等に努めるとともに、口座振替の推進、スマートフォン決済の拡充やページー端末の支所への設置拡大などにより、被保険者の利便性と収納率の向上に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	納付相談の多様化や、きめ細やかな納付相談を行うことなどにより、目標を上回る保険料収入を確保している。今後も制度の安定運営を図るため、収納率の向上に努めていく。		

381 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

382 頁
令和 6年 9月18日

整理番号0128
評価年度令和 5年度
所属1403
事務事業番号00573

進捗区分 評価完了
健康保険部保険年金課
葛川診療所管理運営事業

所属長名 中江 英樹
記入者 田中 賢司

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします			
施策	007	健康増進と地域医療の充実			
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進			
事務事業	022	葛川診療所管理運営事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	国民健康保険法、診療所設置及び管理条例				
事業概要	(事業概要) 医療の公平受益の見地から、山間部である葛川地域に直営診療所を設置し、地域住民の健康増進と医療の確保に努めている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 診療所が設置されている葛川学区は高齢化が進んでいる。 (見直しや改善等の経過) 令和2年度から大津赤十字志賀病院との協定に基づき、医師2名を確保し、診療体制の安定化を図っている。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	葛川地域住民他
目的(何のために)	無医地区の解消のため
手段(どのようなやり方で)	国民健康保険直営診療施設を設置、運営
成果(どのような状態にするのか)	地域住民等への受診機会の提供と地域医療の確保

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		8,371	9,225	9,483	11,115	9,483	9,483	9,483
事業費		5,737	6,579	6,837	8,469	6,837	6,837	6,837
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	5,737	6,579	6,837	8,469	6,837	6,837	6,837
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	人件費計	2,634	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646	2,646
	事務・技術（人）	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用（人）	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

383 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0128
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1403 健康保険部保険年金課
事務事業番号 00573 葛川診療所管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
12-05-05-05-71-00-01-00	葛川診療所管理運営事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 1日当たりのレセプト件数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		5.90	5.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 診療報酬収益達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		110.80	106.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		基準		評価	
評価項目		評価の観点			
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由		事業の採算性等から公的機関が設置することが妥当である。		
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由		2名の医師を確保し、医療機会を安定的に提供している。		
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由		診療日を限定し、効率的な運営を図っている。		
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由		無医地区の解消に貢献している。		
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も引き続き山間部である葛川地域において、必要な医療が確保できるよう努める。 なお、令和5年度においても新型コロナウイルスワクチン接種を実施する等地域医療に貢献した。		

【部局評価結果】	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	診療の他、新型コロナウイルスワクチンなどの予防接種を行った。今後も引き続き葛川地域の住民の健康増進と医療確保に努める。		

384 頁
令和 6年 9月18日

上段：目標値　下段：実績値

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0129
評価年度令和 5年度
所属1403
事務事業番号01889

進捗区分 評価完了
健康保険部保険年金課
子ども医療費助成事業

所属長名 中江 英樹
記入者 中嶋 健

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします			
施策	001	子ども・子育て支援の充実			
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援			
事務事業	019	子ども医療費助成事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市医療費助成条例				
事業概要	(事業概要) 小・中学生の児童及び生徒に対して、医療費の自己負担分の一部を助成する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 少子高齢化が進展する中で、子育て支援の重要性はますます高まっており、安心して子育てができる環境整備や子育て家庭の経済的負担の軽減等を図ることが求められている。 (見直しや改善等の経過) 平成23年1月から小学校1年生から3年生を対象として子ども医療費助成を実施。平成27年1月から、入院のみ小学校4年生から6年生に対して助成を拡大。平成29年1月から通院も助成対象とした。令和5年10月より助成対象に中学校1年生から3年生を加え、制度を拡充した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	小・中学生の児童及び生徒
目的(何のために)	医療費の自己負担分の一部を助成し、その保健向上に寄与する。
手段(どのようなやり方で)	対象者が支払うべき医療保険の自己負担分をその者に代わり医療機関等に支払う。 県外受診等受給券が使用できなかった者に医療費の支給申請により償還払いを行う。
成果(どのような状態にするのか)	子育て家庭の経済的負担の軽減が図られることで、安心して子育てができる環境が整備される。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	413,660	571,748	649,064	716,386	716,386	716,386	716,386
事業費	406,635	561,252	640,536	707,858	707,858	707,858	707,858
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	16,032	160,279	50,637	1,703	1,703	1,703	1,703
一般財源	390,603	400,973	589,899	706,155	706,155	706,155	706,155
人件費計	7,025	10,496	8,528	8,528	8,528	8,528	8,528
事務・技術(人)	0.12	0.96	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.78	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.53	0.94	0.91	0.91	0.91	0.91	0.91
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0129
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1403 健康保険部保険年金課
事務事業番号 01889 子ども医療費助成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-15-10-05-35-00-01-00	子ども医療費助成事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)助成対象者数	人	17,700.00	26,600.00	26,081.00	26,081.00	26,081.00	26,081.00	26,081.00
		17,615.00	26,081.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)助成総額	千円	386,624.00	442,970.00	619,207.00	682,781.00	682,781.00	682,781.00	682,781.00
		390,639.00	540,939.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)一人当たりの助成額	千円	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00	23.00
		22.18	24.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		医療費を助成することにより安心して医療が受けられている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		子育て家庭の経済的負担の軽減が図られている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		主に現物給付で医療費を支払うため効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		経済的負担の軽減により子育て支援の一助となっている。			
	評価理由					

【所属評価結果】		総合評価		計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)		令和5年10月診療分から医療費助成の対象者をこれまでの小学校6年生までから中学校3年生までに拡充し、より幅広く子育て家庭の経済的負担の軽減に取り組んだ。今後も安心して医療が受けられるよう現行制度を継続する。				

【部局評価結果】		総合評価		計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)		医療費の自己負担分の一部を助成することで子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。また、令和6年4月診療分から制度を拡充し、高校生世代を助成対象とする。今後も限られた財源の中で継続的な運営に努めるとともに、国に対して引き続き全国一律の医療助成制度の創設と財政支援を求める。				

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1403 健康保険部保険年金課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 01889 子ども医療費助成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動) 助成対象者数	人	17,700.00 17,615.00	26,600.00 26,081.00	26,081.00 0.00	26,081.00 0.00	26,081.00 0.00	26,081.00 0.00	26,081.00 0.00
	指標説明	対象者数						
(活動) 助成総額	千円	386,624.00 390,639.00	442,970.00 540,939.00	619,207.00 0.00	682,781.00 0.00	682,781.00 0.00	682,781.00 0.00	682,781.00 0.00
	指標説明	助成総額						
(成果) 一人当たりの助成額	千円	23.00 22.18	23.00 24.19	23.00 0.00	23.00 0.00	23.00 0.00	23.00 0.00	23.00 0.00
	指標説明	目標値は令和4年度を基準とする（令和5年度から対象者範囲を拡充したため） 実績値は助成総額／対象者数						

事務事業評価シート（１／２）

整理番号0130
評価年度令和 5年度
所属1403
事務事業番号03850

進捗区分 評価完了
健康保険部保険年金課
医療費適正化対策事業

所属長名 中江 英樹
記入者 山本 裕子

【基本情報】					
総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画			
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります			
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします			
施策	006	安定した社会保障制度の運営			
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援			
事務事業	027	医療費適正化対策事業			
新規継続区分	継続				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	国民健康保険法等				
事業概要	(事業概要) 医療費の増加が見込まれる中、国民健康保険被保険者の負担軽減及び保険財政の健全化を図るため、必要な医療を確保した上で医療費の適正化を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 被保険者の高齢化や医療の高度化などにより１人あたりの医療費が増加している。 (見直しや改善等の経過) 療養費の適正化のため、平成２９年度から柔道整復療養費の患者照会を実施しており、令和４年度から新たにはり師・きゅう師及びあんま・マッサージ指圧師による施術も患者照会の対象に加えた。また、令和５年度から後発医薬品差額通知について送付対象を拡大した。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	国民健康保険被保険者
目的(何のために)	保険事業の適正な運営及び保険財政の健全化を図る。
手段(どのようなやり方で)	柔道整復及びはり・きゅう、あんま・マッサージ施術に係る療養費支給申請書内容点検等の実施、後発医薬品差額通知の送付、医療費通知の送付、レセプト点検２次点検の実施。
成果(どのような状態にするのか)	医療費の適正化を図ることにより、国民健康保険事業の健全かつ安定的な運営を図る。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		35,178	34,335	40,007	43,048	43,048	43,048	43,048
事業費		29,562	28,719	34,391	37,432	37,432	37,432	37,432
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	29,562	28,719	34,391	37,432	37,432	37,432	37,432
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	人件費計	5,616	5,616	5,616	5,616	5,616	5,616	5,616
	事務・技術（人）	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
	技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

389 頁
令和 6年 9月18日

整理番号 0130
評価年度 令和 5年度 進捗区分 評価完了
所属 1403 健康保険部保険年金課
事務事業番号 03850 医療費適正化対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
11-25-05-05-69-00-01-00	医療費適正化対策事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
(活動)医療費通知の発 送回数	回数	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)柔道整復療養費 に係る患者照会回数	回	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00
		10.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)後発医薬品の使用 率	%	85.50	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		81.20	82.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)レセプト再審査 請求による査定減額	千円	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
		10,553.00	7,473.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目		評価の観点		基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である		A
			B	ほぼ妥当である		
			C	あまり妥当ではない		
			D	妥当ではない		
	評価理由		保険者（市）が医療費適正化の取り組みを進めている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている		A
			B	やや上がっている		
			C	あまり上がっていない		
			D	上がっていない		
	評価理由		後発医薬品の使用率増加等により国保財政の負担軽減が図れている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である		A
			B	やや効率的である		
			C	あまり効率的でない		
			D	効率的でない		
	評価理由		県内全市町との共同事業であるため効率的である。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している		A
			B	やや貢献している		
			C	あまり貢献していない		
			D	貢献していない		
	評価理由		過剰な医療行為や不正を防ぎ、国保財政の安定運営に貢献している			
	評価理由					

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （400文字）	令和5年度から後発医薬品差額通知の対象となる条件を変更し（価格差300円以上から価格差200円以上）、対象者を拡大した。このことにより後発医薬品の使用率が向上し、保険財政の安定運営の一助となった。引き続き被保険者の負担軽減及び保険財政の健全化を図るため、県内全市町と連携し、医療費の適正化に取り組む。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （400文字）	後発医薬品の使用率が目標値を上回るなど、各種取組の成果により医療費の適正化が図れた。被保険者の高齢化や医療の高度化を背景に、国民健康保険に係る財政は今後も厳しい状況が続くと見込まれるものの、引き続き安定した運営に取り組む。		

390 頁
令和 6年 9月18日

評価年度	令和 5年度	進捗区分	評価完了
所属	1403	健康保険部保険年金課	
総合計画	03	大津市総合計画	第2期実行計画
事務事業番号	03850	医療費適正化対策事業	

上段：目標値　下段：実績値

[illegible]